心をひとつに

秋田県人会 九州・沖縄

題字：ばんば三郎

写真家・木村伊兵衛と柴田洋子さん



2021年11月から2022年1月にかけて写真家・木村伊兵衛・生誕120年の回顧展が秋田県立美術館で開催されました。福岡・秋田県人会理事の小池敦子さんが、会場を訪ねました。

1901年生まれの木村は、1974年に73歳で亡くなるまで東京から秋田へ21回も通って秋田の人物・風俗の撮影を続けました。特に1952年から71年までの20年間で319本のフィルムを残しています。モデルの柴田洋子さんは、1953年の撮影当時19歳。地元の写真家に案内されて木村伊兵衛が撮影する際、日除けの菅笠で柴田さんの顔に影を作り眉も隠しました。

柴田さんの洋風の顔立ちを少し和らげたのです。柴田さんは大曲市（現在の大仙市）角間川生まれ、7歳から大曲高校卒業まで東京のバレエ団に通うなどしてバレエ技術を習得し、湯沢市と角館町でバレエ教室を主宰します。



柴田さんは、その後、怪我をしてバレエの指導が出来なくなり、上京して政治家の秘書をしていましたが、日系2世の貿易商・三上ヘンリー（清一）氏と結婚しロサンゼルスに行きます。ロサンゼルスでは、油絵を習い、桜の季節には毎年、大曲に帰省していました。しかし柴田さんは、残念ながら、2010年、ロサンゼルスで亡くなりました。76歳でした。木村伊兵衛が残した柴田洋子さんの写真は撮影から67年という時を超えて秋田を伝えています。もう一枚の写真は、木村の撮影より1年前に地元の写真家が撮影。

霧島から能代JAXA実験場へ



鹿児島県霧島市のプロカメラマン中村イサムさんは、今年67歳。これまでに種子島や内之浦のJAXA（宇宙航空研究開発機構）公式カメラマンとしてロケット打ち上げの記録を撮り続けています。この度、縁があって、2021年12月、能代市の実験場でロケットの燃焼試験を撮影しました。

このロケットは民間企業が開発を進め、2022年度に打ち上げを目指す小型衛星打ち上げロケットの第1段固体モーターの大気地上燃焼試験です。JAXAは固体ロケット技術を初めて民間企業に応用する研究を進めており、中村カメラマンは、ロケット打ち上げも見守りたいと言っています。（写真は、2021年6月、第3段モーター燃焼試験）

わらび座が民事再生法



秋田県仙北市の劇団「わらび座」が2021年10月、秋田地裁に民事再生法の適用を申請し、手続き開始決定を受けました。負債額は約14億4600万円。非営利法人「一般社団法人わらび座」が事業を承継し、約170人の従業員の雇用も継続しています。

わらび座は1951年創業で東北の人物や芸能をテーマにオリジナル・ミュージカルを国内外で公演し、また地ビール製造やレストラン・宿泊施設などを経営、ピーク時の2007年には約20億円の売り上げがありました。修学旅行の人気スポットでもあり、全国から年間約150校（約1万5000人）が訪れていましたが、コロナで団体客のキャンセルが相次ぐなどして経営が悪化し、20年度の売上は5億円まで減少していました。事業承継では、個人・法人に寄付を求めると共に、法人とのパートナー契約やクラウドファンディングを進めています。クラウドファンディングでの支援金は、既に目標の1000万円を超えています。

「なまはげ」オンライン・ワークショップ



2021年12月18日（土）～19日（日）、福岡市中央区天神、新天町にある北東北3県合同アンテナショップ「みちのく夢プラザ」2階の工芸品フロアで、小学生以下の子供と父母を対象にした「なまはげ」の壁掛けづくりワークショップが開催されました。

両日の午後2回ずつ、計4回行われたワークショップには子供13人を含む約20人が参加しました。ワークショップはなまはげ太鼓で知られる男鹿温泉の交流会館「五風」とオンラインでつながれ、「五風」のスタッフが、参加した子供たちに壁掛けの「なまはげ」のヒゲなどの作り方を丁寧に教えていました。「みちのく夢プラザ」でのオンライン・ワークショップは、初めての試みで、担当の秋田県職員の北村萌華さんは、こうしたイベントを通じて「みちのく夢プラザ」で30代から40代の若いファンを増やしたいと言っていました。

「マリア像の涙」を教えて頂いた、稲垣良典さん逝く

1月15日、九州大学名誉教授の稲垣良典（りょうすけ）さんが逝去された。享年93歳。

稲垣さんは、佐賀県出身で東京大学文学部哲学科を卒業され、我が国の中世スコラ哲学研究の第一人者だった。毎日出版文化賞、和辻哲郎文化賞などを受賞。40年近く前、勤務先の会社の社外委員をお願いしに福岡県宗像市のご自宅を訪ねた。

委員就任は二つ返事で了承を頂き、以来、少し個人的にもご教示を頂いた。その中で、「マリア像」（秋田市添川湯沢台、カトリック聖体奉仕会修道院）の話がある。法医学者の鑑定で木彫のマリア像が流す涙にはヒト体液が付着していて血液型も分かったという趣旨だった。当時は、マスコミを賑わせ海外から信者が訪ねる騒ぎになった。

稲垣さんは、翻訳も含めて多くの著書を残しているが、講談社現代新書「神とは何か、哲学としてのキリスト教」で、人間とは「旅する者」であり、われわれが「人生」と呼んでいるのは、目的地（ゴール）を目指して歩む「旅路」だと書いています。この旅がいつか終わる事実を挫折感や絶望を持って受け止めるのではなく、目指していた終着点への到達という「希望」をもって待ち望むことができると答えています。想い出を噛みしめながらご冥福をお祈り致します。（中村靖）

警固神社芋煮祭、納めの神事



3月11日（金）午後1時半から、福岡市中央区の警固神社拝殿で東北芋煮祭、納めの神事がありました。2011年3月に起きた東日本大震災の後、翌年3月から毎年、警固神社境内を無償で借用し、東北芋煮祭を東北各県の県人会が開催してきました。

福岡・秋田県人会も、キリタンポ鍋チャリティで参加してきましたが、コロナで中断されたのと、警固神社が社務所の建て替え工事を始めたため開催場所が無くなり、10年の節目として東北芋煮祭を締めくくる納めの神事をしました。神事には各県人会の代表や北東北3県福岡合同事務所の所長も参列し、これまでの神社側の協力に感謝すると共に、会場を変えて、アルコールの入らない直会をしました。各県人会の努力でチャリティの益金が残っており、今後、使い道を協議することになっています。また11月3日には、福岡市早良区小田部の室見川河畔公園で同じように10年間の活動を締めくくる納めの東北芋煮会が開催される予定です。

福岡・秋田県人会　創立35周年記念総会



3月22日（火）午後2時半から福岡市中央区天神のアークホテルロイヤル福岡天神で開催された記念総会には秋田県から猿田和三・副知事が来賓として出席し、会員約140人のうち30人が出席しました。福岡・秋田県人会のイベントは2020年1月の新年会以来で、総会はコロナ感染を防ぐため机の間隔を広く取る会議形式で進められました。

祝辞の中で猿田副知事は、あきたこまち以来37年振りという秋田米の新品種「サキホコレ」について、民謡歌手・小野花子さんが歌うサキホコレ音頭で自らバックダンサーを務めたことを紹介し、全国への売り込みを図るため、タレント起用を検討中だと話されました。また、秋田県の文化、観光、産業を売り込むため、九州を毎年、訪問したいと約束されました。総会では、福岡・秋田県人会の歴史を映像で振り返る15分ほどの動画DVDが大画面で公開されました。総会には、5名の初参加があり、男鹿市脇本出身の加藤裕則さんは、朝日新聞の記者として12回目の転勤で、福岡に初めて赴任したが、九州と秋田が多くの分野で繋がっていることに驚いたと話されました。また松尾潤さんは、4年前に他界したお父さんが鷹巣出身で50年間福岡に住んでいた。鷹巣への墓参りを続けており、福岡生まれだが秋田との繋がりを大事にしていきたいと話されました。秋田県福岡事務所の小野貴久さんは、4月から3年目の勤務になるが、人生の半分を秋田県外で過ごしている。コロナが落ち着いたら、もう少し、九州を味わいたいという事です。同じく北村萌華さんは、4月から2年目の勤務で、日本文化を海外に広めるため、英語・フランス語を学んでいると自己紹介されました。最後に佐藤朋弘・所長は、皆さんにお話しするのは、今日が最初で最後になるが、二人は残るので是非みちのく夢プラザや秋田県福岡事務所にお立ち寄り下さいと挨拶されました。総会には、秋田県人沖縄会（正式名称）から特大の花輪も贈られ会場を彩りました。なお、福岡・秋田県人会では、会員の皆さんに春の近況をお尋ねする往復ハガキを約140通投函し65人から返信を頂きました。有難うございました。

動画DVDが残り少なくなりました。ご希望の方は、福岡・秋田県人会、中村靖まで、ご連絡下さい。〒819-0013福岡市西区愛宕浜2-3-11-1406、携帯090-3321－8591。
DVDは正味15分、1枚200円＋送料380円の計580円です。



秋田犬保存会九州総支部展覧会



3月27日、福岡県小郡市大保の大型商業施設（イオン小郡ショッピングセンター）駐車場で秋田犬の展覧会が開催されました。展覧会には、九州総支部に所属する福岡県を中心に滋賀県から鹿児島県まで45頭の秋田犬が参加しました。

会場には秋田犬保存会と書かれた大きなテントを中心に飼い主だけでなく買い物客も大勢足を止め、秋田犬の写真を撮ったり、小さな子供さんに見せたり、春の一日を楽しんでいました。審査は、牡（おす）牝（めす）別に、生後3か月～6か月の幼稚犬から2歳半以上の成犬に分かれ、足の長さや腰の高さ、耳の形などのポイントを採点して行きます。中には初めて参加する飼い主もいて、秋田犬より緊張していると笑っていました。秋田犬保存会は、九州のほか全国を7つのブロックに分けており、審査を通った秋田犬は5月3日に大館市で行われた秋田犬保存会の本部展に出場し、若犬牡の部で「天領」が2席、壮犬牡の部で「宝岳」が1席に選ばれました。

博多どんたくパレード3年振り開催に参加



博多どんたく二日目、5月4日も快晴に恵まれました。福岡・秋田県人会は、みちのく夢プラザ（北東北3県合同アンテナショップ）隊としてパレードに参加しました。みちのく夢プラザの店舗前に集合し、ナマハゲは3県合同福岡事務所で着替え、他の方は新天町商店街ビルの会議室で着替え、パレード集合場所の冷泉公園へ。

今回参加したナマハゲは4匹、1匹は山口県宇部市から愛媛県新居浜市に転居した会員の下總さんが空路参加しました。参加した会員は全部で21名、秋田犬を育てている西山さんは初参加でしたが、大館市から取り寄せた秋田犬の大きなポスターで体を包み、秋田犬のマスク姿でした。冷泉公園から幹線道路の明治通りを西へ1，3キロ、青森のハネトを先頭に福岡市役所まで進みます。ハネトは一般公募で約20名、岩手県人会は6名、福島県人会1名。秋田県人会は福岡市などで新体操教室を開催している会員が初参加でした。新体操の生徒さんとリボンやフープで沿道の人波に応えました。どんたくの主催者は、観覧を控え、動画配信サイトyoutubeを見るよう呼びかけました。コロナ禍で2年間中止されていたパレードですが、3日、4日と合わせたパレード参加者は6,500人とコロナ以前の4割、沿道の人出は80万人とコロナ前の3割弱でしたが、皆さん晴れやかな表情でした。

「道の駅おが」オガーレ駅長から日田市・木の花ガルテンへ

2018年から2021年まで4年間、道の駅オガーレ（男鹿市）の駅長を務めた山崎宏幸さんが2022年6月から大分大山町農協が営む農産物と農産加工品販売の「木の花ガルテン」を手伝っています。木の花ガルテンは、大分・福岡を中心に10店舗を展開しています。オガーレから連れて来た秋田犬「つばき」も一緒に大分県日田市に転居しました。山崎さんは、2022年1月から3月まで福岡市にある北東北3県合同アンテナショップ「みちのく夢プラザ」のアドバイザーも務めていました。オガーレの前は、福岡県宗像市の道の駅「むなかた」の初代駅長を務め「むなかた」を九州一に育て上げた山崎さん。多くの方から実績を買われ、休みがありません。

シンジー81歳、7回目の昭和演歌コンサート



福岡・秋田県人会、会員のシンジー（麻生進さん）が5月5日、14時から福岡市中央区天神のアクロス福岡円形ホールで7回目の昭和演歌コンサートを開催しました。本来は3月7日に別の会場で小規模なライブを予定していましたが、急激なコロナ感染拡大で中止を余儀なくされていました。会場には、遠く大阪から駆け付けたというファンや最高齢90歳の方など約50人が詰めかけました。

コンサートは2部に分けられ、秋田市の竿燈祭りなどを題材に自ら作詞した「ケヤキ・明日なろ・旭川」や大正から昭和にかけての演歌など25曲を熱唱しました。熱心なファンは歌に合わせてキャンドルライトを振り、中にはスーツの内側に大きな文字で拍手と書いた男性ファンが会場の笑いを誘っていました。シンジーは、佐賀県生まれですが、秋田県出身の国民的歌手・東海林太郎を心の師と仰ぎ、福岡・秋田県人会に入会されました。「ケヤキ・明日なろ・旭川」は、東海林太郎生誕120年記念曲に選ばれ、2018年4月、東海林太郎の胸像があった元の秋田県民会館そばで歌唱を披露しました。シンジーは秋田市土崎港の東海林太郎の菩提寺・西船寺で歌唱するなど4回も秋田を訪ねています。昨年、秋田市に東海林太郎の直立不動像が建てられた際も支援しています。シンジーはライブも是非、実現したいと会場で話されました。

高橋亜季さん、新体操教室が秋田魁新報に

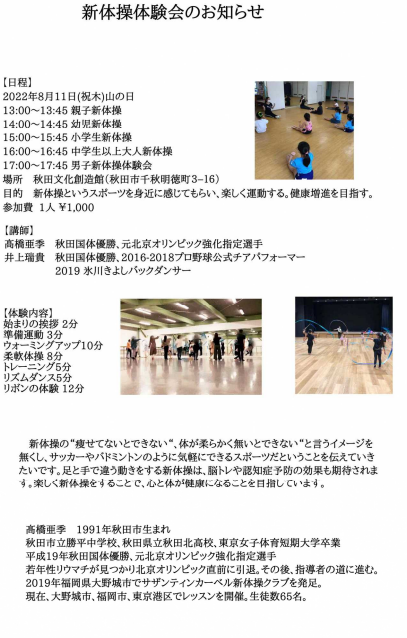


井上さん（左）と高橋さん

福岡・秋田県人会会員で新体操教室「サザンティンカーベル新体操クラブ」を主宰している高橋亜季さん（31歳）が、6月5日、秋田魁新報に紹介されました。高橋さんは、2019年から福岡市を中心に体操教室を開いていましたが、2022年4月から東京都内でも教室を広げているためです。都内の教室は港区のダンススタジオが会場。

現在の生徒数は、福岡と東京を合わせて約60人。8月11日には、秋田市文化創造館で里帰り体験教室も計画しています。高橋さんは、6歳から新体操を始め、秋田北高2年時に秋田わか杉国体少年女子の優勝メンバーに。2008年北京五輪の強化指定選手にも選ばれましたが、病気が見つかりドクターストップがかかりました。東京の教室では、高校時代の先輩、井上瑞貴さん（32歳）の協力を得ています。




新体操体験会のお知らせ

【日程】
2022年8月11日(祝木)山の日
13:00～13:45 親子新体操
14:00～14:45 幼児新体操
15:00～15:45 小学生新体操
16:00～16:45 中学生以上大人新体操
17:00～17:45 男子新体操体験会
場所　秋田文化創造館(秋田市千秋明徳町3-16)
目的　新体操というスポーツを身近に感じてもらい、楽しく運動する。健康増進を目指す。
参加費 1人 ¥1,000

【講師】
高橋亜季　秋田国体優勝、元北京オリンピック強化指定選手
井上瑞貴　秋田国体優勝、2016-2018プロ野球公式チアパフォーマー
2019 氷川きよしバックダンサー

【体験内容】
始まりの挨拶 2分
準備運動 3分
ウォーミングアップ10分
柔軟体操 8分
トレーニング5分
リズムダンス5分
リボンの体験 12分

新体操の"痩せてないとできない"、体が柔らかく無いとできない"と言うイメージを無くし、サッカーやバドミントンのように気軽にできるスポーツだということを伝えていきたいです。足と手で違う動きをする新体操は、脳トレや認知症予防の効果も期待されます。楽しく新体操をすることで、心と体が健康になることを目指しています。

高橋亜季　1991年秋田市生まれ
秋田市立勝平中学校、秋田県立秋田北高校、東京女子体育短期大学卒業
平成19年秋田国体優勝、元北京オリンピック強化指定選手
若年性リウマチが見つかり北京オリンピック直前に引退、その後、指導者の道に進む。
2019年福岡県大野城市でサザンティンカーベル新体操クラブを発足。
現在、大野城市、福岡市、東京港区でレッスンを開催。生徒数65名。

在カナダ・トロントの斎藤健史です。



カナダも感染状況が落ち着き、自由に旅行したり、集まったりできるようになりました。仕事の方でも、オンラインではない展示会やイベントの開催が可能となりました。ジェトロ・トロント事務所でも、５月９日より１１日にかけて、トロント市内の展示会場で行われた「レストラン・カナダ・ショウ」という食品関係の展示会において、日本の食材を紹介するコーナーを設け、試食や料理実演を行いました。

東北地方から、岩手県の日本酒「南部美人」や和牛、福島県の日本酒「奥の松」などを含め、日本各地の食材や日本酒をカナダのレストラン関係者に紹介しました（写真）。まだまだ感染前と同じようにとはいきませんが、日本への旅行や、日本からの旅行も増えていくと思います。秋田県人会の皆様も、機会がありましたら、カナダにもおいでください。

ハワイ島から大坪洋子さん

JCCK（ハワイ島コナ日本文化センター計画）についてですが、コロナ禍も少し落ち着いて、ようやくイベントができるようになり、４月２日にはファンドレージングのゴルフトーナメントを開催しました。ウェブサイトも少しアップデートされたのでお知らせします。

またゴルフトーナメントについてのfacebookも担当者が作成したのでご覧ください。今年2年ぶりにクルーズ船も寄港するようになり、毎月行われていた歩行者天国のKona Village Walkもこの２月から、やはり2年ぶりに再開されました。

その通りにあるパレス博物館はまだ閉館のまま、Village Walkの日に行われていた Music / Hula Danceイベントも、やはり中止のままです。コロナパンデミックは未だに収まらず、こちらでは規制は解除でもマスク着用が推薦されている昨今です。６月11日、ハワイ州はキングカメハメハの日で祝日です。今年は150周年の記念日を迎え、祭典が「コナ」でも「パレス」で2年ぶりに開催されました。ダウンタウンの商店街やファーマーズマーケットも久しぶりに大勢の観光客で賑わいました。

コーヒー農園では３月にはコーヒーの花が満開となりました。今年は２月いっぱいまで雨が少なく乾燥気味、３月に入り連日のように雨が続いたので例年より遅く雨上がりにパッと満開の開花でした。この辺はコナコーヒーベルトと呼ばれ道路沿いのコーヒー園が白い花を一面に咲かせるのでコナスノーと呼ばれています。今年も収穫を望めそうです。

https://www.japaneseculturalcenterofkona.com/gallery/	ハワイ島コナ日本文化センター
https://historickailuavillage.com	歩行者天国

チェコ共和国・留学中の国際教養大学生から近況

ウクライナ情勢は地理的にウクライナに比較的近いことや、ウクライナ人の学生が多いことを受け、ブルノ（チェコ共和国第二の都市）でとても大きく取り上げられています。街中のいたる所でウクライナの旗が掲げられていたり、戦争を反対するデモンストレーションが行われたり、ウクライナを支持する姿勢がいたるところで見られます。



福岡県小郡市出身の秋山萌菜です。私は、国際教養大学に在学中です。国際教養大学を選んだ理由は、幼い頃、海外旅行に連れて行ってもらった事や、中学校で英語教師をしている母の影響を受けたと思います。物心ついた頃から海外の文化に興味を持つようになり、英語の勉強が好きでした。高校2年の冬から卒業にかけてカナダの高校に通い、卒業後は海外の大学進学も考えましたが途中で日本が恋しくなり国内での大学進学を決めました。進学先として高校留学中に身につけた国際経験や英語力を生かせる国際系の大学を探す中で母が国際教養大学を紹介してくれました。

全ての授業が英語で行われていること、卒業までに1年間の留学を義務づけている事にとても強く興味を持ちました。国際系の大学はいろいろありますが、都会にある大学や規模の大きな大学よりも、私が通っていた小中学校のように各クラスが少人数。しかも田舎で、のんびりした生活が自分に合うと感じました。その点、国際教養大学は秋田に位置し、少人数制の授業だという所がぴったりだと考えました。入学後1年間は、デンマーク人のルームメイトと寮で生活したり、サークル活動に励んだりと秋田で充実した学生生活を過ごしていました。2年になるとコロナの影響で思うような学生生活を送れませんでしたが、3年にはコロナで中止になった留学の代わりに秋田で2つのインターンシップを経験しながら社会勉強に励みました。一つは秋田県潟上市の小玉醸造で、ここでは昨年12月に発売した純米酒と本格焼酎の名前とラベルデザインを考案した他、日本酒の海外輸出用の市場調査などを行いました。また、にかほ市の秋田マテリアルでは、リユースショップのSNS広報について実践的に学びました。現在、私は大学4年生ですが、コロナによる渡航制限が軽減されたおかげで交換留学が出来るようになり、今年の2月から1年間、チェコ共和国に留学中です。ブルノというチェコ第二の都市にある国立マサリク大学でメディア学や社会学を学んでいます。

メキシコ人、ロシア人の留学生と寮でルームシェアをして生活しており、文化の違いに驚きながらも楽しく生活しています。ヨーロッパを訪れるのは今回が初めてで、石畳の道やゴシック様式の建物など見るもの全てにワクワクしています。チェコの公用語はチェコ語ですが私は全く分からないのでバスを乗り間違えたりレストランに行ってもメニューが読めなかったり困ることも多いのですが周りの方達に支えられながら、どうにか生活しています。チェコも秋田みたいに寒いだろうと思っていましたが、秋田に比べると雪も少なく秋田の美しい雪景色が恋しいこの頃です。

大学卒業後の進路はまだはっきり決めていませんが、メディア学を生かして広報関連の仕事をするとか英語力を生かしながら海外と関わる仕事をするのも楽しそうだなと模索しています。コロナで留学時期が一年遅れたため卒業時期も遅れますが焦らず、じっくり進路を考えようと思っています。

成田文隆さんのオープンガーデン



福岡県久留米市在住の会員、成田文隆さんがオープンガーデンを開催しますというご案内を頂いてお訪ねしました。ガーデンデザイン・ナリタは、久留米市善道寺町、トラックや動力噴霧器、作業用の長い梯子を何台も備えています。成田さんは大館市出身で73歳、外の仕事が多いせいか、日に焼けていますが、10歳は若く見える程、健康的です。福岡市、久留米市を中心に40件の顧客を抱え個人の住宅やマンション、店舗などの庭園造りをしています。

40件については、始めに庭造りをして、その後は原則として正月と旧盆前の年2回、庭の手入れに行くそうです。顧客との取引は、中間に業者を入れず、花も直接栽培農家から仕入れて顧客・農家の利益を優先しています。成田さんのモットーは、①四季を通じて花が咲く庭、②雑草が生えにくい庭、③維持管理がしやすい庭です。確かにご自宅の庭は200種類もの草花に囲まれていますが、雑草は一本もなく、すがすがしい佇まいです。福岡・秋田県人会会員の方で興味のある方は、成田さんに、ご連絡下さい。
携帯080-4272-6645です。おいでになる時は、2～3日前にご連絡下さいと言う事です。

佐賀秋田県人会、世話役、明石穣（あかしゆたか）さん



男鹿市出身の明石さんは、今年79歳、元証券マンです。明石さんが世話役を務める佐賀秋田県人会もコロナで活動が止まっていますが、明石さんは毎週1回から2回、JR基山駅前にあるモール商店街の「まちなか公民館」に交代制で詰めています。

明石さんは、佐賀県三養基郡基山町に住んでおり、特定非営利活動法人「SGK」に所属しています。「SGK」は、スゴカの略でシニアの経験を生かして地域力の向上を図っており、2022年6月、基山町と包括連携協定を結びました。「まちなか」公民館は、JR基山駅前にあるモール商店街の空き店舗を活用し、「SGK」が以前から管理を委託されています。公民館では、おしゃべり会・オレンジカフェや中小企業の相談などにも取り組んでいます。

佐賀

11月12日、「秋田竿燈（かんとう）まつりin武雄」が開催されます。西九州新幹線（武雄温泉―長崎）開業記念イベントです。秋田市から竿燈8本と関係者ら約100人が訪れます。（世話役、明石穣さん）

熊本

暑気払いの案内ハガキを考えていたら、コロナ感染が、また増えて来ました。今年も会合の開催が難しいと思います。（世話役・長谷川忠志さん）

沖縄

2020年9月からコロナで活動を休止しています。感染が、7月に入って倍増しています。仕事中は、苦しいですが、二重マスクです。（木村昭男会長）

福岡

9月例会を開催するかどうか、7月27日（水）16時から役員会を開催し、検討します。
〇11月3日、キリタンポ鍋チャリティ（東北芋煮会）を室見川河川敷公園で開催する予定です。東日本大震災復興支援で10年続けた取り組みの仕上げです。
〇11月4日、新装なった、あきた芸術劇場「ミルハス」、中ホールで東海林太郎直立不動像・建立記念音楽祭が開催されます。ボニー・ジャックスなどが出演します。

募集

今年度の発行予定は、2022年11月、2023年3月です。

会報へのご意見、ご感想、投稿をお願い致します。
宛先は、福岡・秋田県人会、中村靖、
メールアドレス：o-nakamura@mms.bbiq.jp
郵送の宛先　：〒819-0013、福岡市西区愛宕浜2－3－11－1406

